



# 名古屋青年

## NAGOYA YMCA NEWS

2015 **4** No.704

昭和27年5月13日 第三種郵便物認可  
毎月1日(月刊 定価 1部 60円)  
(購読料はYMCA会費に含まれています)

●発行所 公益財団法人名古屋YMCA 〒464-0848 名古屋市千種区春岡1丁目2番7号 TEL052-757-3331 FAX052-757-3332 ●発行人 中村 隆 ●編集人 牧 賢範

### 年間聖句

「新しい歌を主に向かって歌え。」

(詩篇98編1節)

2015年度 年間聖句が決まりました

## 新しい歌を主に向かって歌え 詩編98編1節

名古屋 YMCA 評議員

金城学院中学校宗教主事 後藤田典子



phot by Elmar Krenkel

2015年度を迎えました。新しい一年の始まりです。

おりしも、今年度は、最初の日曜日がイエス様のご復活・新しい命の出発を

意味するイースターに始まりました。さらに、名古屋YMCAは、4月1日より池下に新しい本館を得て新たな活動展開を始めました。YMCAに連なる皆様は、新しく始まるこの一年をどのようにスタートなさったでしょう。

かつて、名古屋YMCAは地下鉄の「上前津」に建物がありました。その拠点を中心に、子どもたちの健やかな成長を願い、青年たちの元気な繋がりが形になるように、また大人たちも健康で笑顔で地域と世界に関われるよう、様々な活動を展開していました。100年の歴史を越える活動が、今や老いも若きも集うYMCAに発展し

ているのは皆様もご存じの通りです。上前津から高岳に拠点を移し、しばらくの間さらなる展開を模索してきましたが、神様から思いもかけないチャンスと勇気をいただき、2015年度新たな一步を踏み出すことになりました。

冒頭の聖句は、新たな一步を踏み出すにあたり、この年度を感謝して始めから最後まで確かに歩いていけるようにとの祈りを込めた標語です。この聖句は聖書に登場する「詩」の一部分なのですが、この言葉の後に「主は驚くべき御業を成し遂げられた。右の御手、聖なる御腕によって 主は救いの御業を果たされた。」という続きがあり、さらに嬉しさや楽しさや明るい希望の言葉も登場するのです。

名古屋YMCAは今、とても嬉しいし、とても楽しいし、とても明るい希望に満ちています。その嬉しさ・楽しさ・希望は、YMCAに連なる皆様と共なるものです。

2015年度が始まりました。新しい歌を口ずさみつつ、一緒に進んでいきましょう。

### 私とYMCA



一般社団法人 aichikara 石原なる美

「みんな」というニックネームで呼ばれ続けて、ちょうど十年が経ちます。高校一年生の冬、名古屋インターアクトループのメンバーと出会い、できたばかりの代官町のYMCAに足を踏み入れることとなりました。

インターアクトループでは、海岸掃除から日本YMCA大会でのワークショップ実施など、様々なことを実施し、大切な仲間もできました。当時十五歳の私にとっては全てが新鮮で、世界が一気に広がった大変充実した時間でした。今になって気付きますが、本当に多くの大人に見守ってもらいながら、時にわがままな「自分の信じるボランティア」をさせてもらっていたなと感じています。

大学生でも野外のリーダーになりました。特に、キャンプ等では子どもと真剣に向き合うスタッフさんの姿に衝撃を受けました。当然のことですが、経験の違いを突きつけられた気がしたとともに、私の考えの浅はかさを感じりました。子ども・人と正面から向き合うことは、こんなにも大変なかと思いました。「私も向き合うぞ」と思っても、すぐにはうまくいきません。そこで違う角度から練習の機会を与えてくれたのがYMCAの海外研修でした。中国、フィリピン等四カ国での研修・大会に参加し、限られた時間の中で日本人・現地メンバー全員が心を一つに、何かを作り出すという経験をしました。

キャンプや海外研修では色々な感情を味わいましたが、苦い気持ちを含め、全ての経験は着実に私の中で育ち、「学び」となって今の私を形成しています。

現在は東日本大震災により避難している方をサポートする「愛知県被災者支援センター」と福島県を中心に子ども達のサポートをする「一般社団法人 aichikara」で働いています。被災者の支援という事でYMCAやワイズメンズクラブの皆さんと共に活動することもあります。YMCAという場所・空間は多くの学びの機会をつくり、人と人をつないでいると思います。新会館がYMCAの可能性をさらに大きなものとしてくれることを願い、私自身もYMCAの仲間と共に、次の世代に残したい社会をつくれるよう、微力ながら全力で努めたいと思います。



CARING  
HONESTY  
RESPONSIBILITY  
RESPECT

### 名古屋YMCA使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

### お問い合わせ <http://www.ngoymca.com/>

名古屋YMCA  
南山ファミリーYMCA  
南山幼稚園  
神沢YMCA  
YMCAかみさわ保育園

052-757-3331  
052-831-6968  
052-831-8271  
052-879-6300  
052-879-6222

### リーダー感謝会



3月21日(土)、2014年度リーダー感謝会が南山ファミリー YMCA で行われました。

リーダー感謝会とは、大学卒業までYMCAで活動してきたリーダーたちの奉仕に対する感謝の会です。今年大学を卒業する個性豊かな4年生たちは、多くの仲間と支えられ、この日を迎えました。仲間と共に喜び、共に涙し、活動してきた4年間。多くの経験を持ってそれぞれ次のステップに進みます。

在籍リーダー、ワイズメンズクラブの方々など多くのYMCAの仲間、そして、新しい環境へ飛び立つリーダーたちとこの会を持てたことに感謝いたします。

### 2014年度 体操カーニバル



### 第10回 朗読発表会

とき：5月17日(日) 開演：13:00 場所：名東文化小劇場  
10周年を記念し、外部会場で生徒さんの発表会を行います。どなたもお気軽にお出かけ下さい。

### 共につくり、盛り上げる 名古屋 YMCA 夢・希望 フォーラム

日本YMCA大会では“YMCAブランドの再生！をテーマに、オールジャパンYMCAとしての革新を！”と呼びかけて大きな感動を呼び起こし、大成功のうちに終わりました。名古屋YMCAでも“Yをもっと知って！ Yにもっと参加しよう！”と、今までとは違った形で第一回名古屋YMCA大会が開かれたことは記憶に新しいところです。このような動きをさらに高め、明日のYMCAを共につくるために、“名古屋YMCA 夢・希望 フォーラム”を行ないます。

基調講演には昨年の日本YMCA大会の実行委員長であり、日本YMCA同盟中期計画をまとめられた中道基夫氏(神戸YMCA理事長)をお招きします。YMCAの抱えている見えない壁を取り去り、埋没している宝(ブランド)を発掘するための新鮮なお話が伺えます。

今年は名古屋YMCA中期計画MAP2015(Mission・Action・Pray)の最終年度でもあり、新しい会館でのスタートを機に名古屋YMCAの明日を共につくりましょう。皆さんの参加をお待ちしております。

- 開催日時 5月16日(土) 13時30分～17時
  - 場所：南山ファミリーYMCA・幼稚園 (2F講堂)
  - プログラム
    - 3-1 基調講演  
Beyond 越えていこう、出会うために！  
神戸YMCA理事長 中道基夫氏
    - 3-2 パネルディスカッション  
名古屋YMCAの壁と宝、そして明日 (詳細は追ってお知らせします。)
- 尚、フォーラム終了後懇談会を開催予定です。(場所等未定)

主催 名古屋YMCA：名古屋YMCA Beyond フォーラム実行委員会

### ワイズコーナー 4月例会の予定

名古屋	4月14日(火) 18:30～	卓話「戦前、朝鮮半島に愛知県人の村があった」大阪土佐堀クラブ 岩田晋氏	名古屋YMCA
名古屋南山	4月9日(木) 19:00～	お花見例会	南山ファミリーYMCA
名古屋東海	4月10日(金) 18:45～	卓話「トリックアート」講師 渡辺健一氏(トリックアート画家)	ラ・スースANN
名古屋プラザ	4月9日(木) 18:30～	創立記念月例会/反省会	名古屋YMCA
名古屋グランド	4月11日～12日	第3回被災地応援ツアー	陸前高田・宮古

### 総主事コラム

### 春スキーキャンプ

名古屋では三月二十一日に桜の開花が告げられましたが、今年の春のスキーキャンプは三月二十五日から白樺湖と志賀高原で行われました。暖かい日が続く、ゲレンデコンディションが心配されましたが、タイミング良く戻り寒波があり、三月二十五日の北日本の天候は猛吹雪となりました。志賀高原横手山のゲレンデは標高二、三〇七m 雲上のスノーエリアであり、五月下旬までスキーが出来る場所です。

スキーキャンプ初日、春の気候に慣れ、横手山ゲレンデの寒さを知らない子どもたちは準備不足。寒さ対策が不十分です。「帽子は耳まで被る」「服のチャックは上まで閉じる」「手袋で雪をさわらない」一度湿った手袋は凍って手を温めてくれませんし、ゴーグルは室内で付けてから外に出ないと曇ってしまいます。言葉では理解し難いことも、本当の寒さを体験した子どもたちは

翌日しっかりと準備をしてゲレンデに向かいました。「本物体験」は子どもたちに多くの学びを与えてくれました。

三日目、太平洋高気圧が張り出し、春の気候が戻りました。前日までの寒さが嘘のように気温が上がります。インナーを調節し、雪に反射した紫外線から目を守る雪目対策が重要になります。太陽の光は何より子どもたちに「元氣」と「勇氣」と「やる氣」を与えてくれ、インソップ寓話「北風と太陽」を思い出す出来事となりました。

Y M C A のスキーは、細かな技術指導よりも、様々な斜面をできるだけ長く滑ることを大切にしています。豊かな自然を感じながら「楽しく」滑ることがスキーの上達につながり、何よりも子どもたちの感性を高めてくれると信じているからです。陽光に輝く樹氷。山頂から見た北アルプスの山容。標高二、〇〇〇mから見た空の青さ。厳しく優しい自然は子どもたちに様々な知恵と感動を与えてくれます。



### 第3回名古屋YMCAチャリティウォーク

### 3・11を決して忘れない

名古屋東海ワイズメンズクラブ 八木 武志

名古屋YMCAは新しい会館を与えられ、オープン前の準備で慌ただしいなか、三月二十八日(土)第三回名古屋YMCAチャリティウォークは名古屋市役所前を午前十時にスタートし、池下の新会館をゴールにして開催しました。

このチャリティウォークは東日本大震災の被災地復興を願い始まりました。第一回は平和公園で「平和の風」を揚げました。昨年は「YMCAかみさわ保育園」の開園を機に野並から神沢まで「伊勢湾台風」の瓦礫で作られた「滝の水公園」を経て開催しました。

東日本大震災の復興はまだまだ進んでいませんが盛岡YMCAの宮古センターでは子どもたちの心のケアにプログラムを提供して活動しています。今回のチャリティウォークの参加費は宮古センターに捧げようと計画されました。この



の献金は名古屋グランパスワイズが四月十一日・十二日に実施する被災地を訪問するツアーに託しました。(心の参加者を含め一五、〇〇〇円)

参加者はワイズメンズクラブの会員が主で、どちらかと言えば年齢の高いメンバーがゆつくりと名古屋の主税町、撞木町、白壁町の古い街並み(と思ったらマシオンも結構多い、しかし入口は昔ながらの長屋門)を楽しみながらゴールを目指して歩きました。

維持会員としてのお支えを心より感謝申し上げます。

2015年2月15日～3月27日

### 維持会員

#### 【代官町】(継続)

福田 忠徳	久保田 啓	伊左治 真	瀬口 昌久	武田 尚子	鈴木 良洋
辻本 昌孝	小林 純子	深谷 聡	八木 武志	神野 啓子	土屋 俣子
今村 敦司	西村 清	西村 牧子	後藤田典子	坂本 康信	坂本みよ子

#### 【南山】(継続)

義井 裕子

#### 【新人】

千賀 あや (学) 枇杷島キリスト教学園

#### 賛助法人

日本特殊陶業株式会社

#### 感謝・寄付

吉田 一誠

【目報】 本会維持会員、元名古屋YMCA 総主事の坂本康信さんが2月10日、天に召されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

### 名古屋YMCA 早春祈禱会

日時：4月7日(火) 7:45～8:30  
場所：名古屋YMCA本館(千種区春岡町1-2-7 電話052-757-3331)  
奨励：西村 清 牧師(日本キリスト教団隠退教師・本会名誉理事)

どなたでもご参加いただけます。